

平成30年度事業報告

【事業概要】

今年度末の実会員数は、昨年度より55名の純増となりました。

請負・委任の年度実績は前年度を割りましたが、派遣が大幅に増えたため全体として実績を伸ばす結果となっています。

介護事業では新総合事業サービスAの実績が大幅に伸びました。

新たな取り組みとして始めた厚生労働省の「きらりシルバー応援事業」は、今までにない斬新なアイデアが評価され、全国1,300余りあるセンターの中から5つに選ばれました。この事業は平成30年7月から取り組みを開始しており、3年間行います。

6本の大きな柱で構成し、最終的には会員数、請負・委任・派遣の新規受託数を飛躍的に拡大させ、全国センターの手本となるような事業展開を期待されています。30年度においては会員数の増加において若干の効果があつたと思いますが、本格的な効果は次年度以降じわじわと効いてくるものと期待しています。

30年度は全国から16カ所の視察があり、やまゆりをはじめとする当センター事業への関心の高さが伺えると同時に責任の重さも感じます。

柏崎市・シルバー人材センター・越後交通（株）の三者で、数年来交渉を重ねてきた、路線バスを活用した官民連携の「買い物支援バス」の試験運行が4月から実現することになりました。市長をはじめ市企画政策課の職員のたゆまぬ努力、当センターの会員ボランティアの熱意と買い物支援の実績、民間のバス会社の理解が相まって実現に漕ぎつけたもので、おそらく全国初の取り組みとして今後の展開が注目されています。

市から指定管理を請けているワークプラザ柏崎は開かれた公共施設として多くの市民や企業団体からご利用いただき5年間の区切りを迎えました。取り組み姿勢や実績が評価され、次期5年間の指定管理も受託が決まっています。

1、登録会員（年度末） 1,278人（男703人 女575人）

2、事業実績

(1) 請負・委任	受注件数（新規）	9,354件（5,262）	昨年度比
(2) 請負・委任	就業延人員	84,510人日	1.6%減
(3) 請負・委任	配分金合計額	290,503,641円	2.1%減
(4) 請負・委任	受託金額	374,772,644円	0.9%減
	内 訳		構成比
	公 共	88,908,395円	22.9%

民間企業	150,121,473円	42.4%
一般家庭	84,013,468円	22.9%
独自事業	10,743,322円	2.8%
介護保険	40,985,986円	9.1%

(5) ケアプラン作成

1,320件 受託金額 18,153,890円

(6) 一般労働者派遣事業

受注実件数 704件 (うち新規108件) 昨年度比
 契約金額 126,764,315円 14.7%増

(7) 請負・委任 職群別構成比

管理的職業	0.0%	専門的技術的職業	0.0%
事務的職業	0.5%	販売の職業	2.6%
サービスの職業	40.3%	保安の職業	0.0%
農林漁業の職業	12.2%	生産工程の職業	2.4%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業	0.2%
運搬清掃包装等の職業	41.8%		

(8) 請負・委任・派遣 年間就業率 **80.9%** 昨年度 81.2%
 (請負・委任のみ 年間就業率 67.8% 昨年度 71.5%)

【部会報告】

広聴広報部会

平成30年4月15日発行の『シルバーだより柏崎』に新部会の活動内容と今年のテーマとして四項目を重点に掲げ、活動した結果を報告致します。

1、広報誌『シルバーだより柏崎』の編集発行

出来る限り写真を多く取り入れ見やすく工夫をして編集しました。

第116号 平成30年9月15日発行(8頁)

第117号 平成31年4月15日発行(12頁)

2、メディアの活用(情報の収集及び発信)

『きらりシルバー応援事業』を柏崎市シルバーの役員・事務局・会員が一丸となって取組、遂行する為『シルバーだより柏崎』等による広報活動の実施。

主なものとしてポイントカード(会員証)の作成、フレンドショップの活用、FMピッカラによる放送、漫画冊子の作成等

3、周知活動(イベントチラシの作成)

フレンドショップの活用・拡大、各種行事の御案内

4、入会案内資料等の管理

今回、入会案内資料の変更はありませんでした。

企画推進部会

1、会員研修会を企画、運営しました。

内容を部会内で話し合い、柏崎市消費生活センターに講師依頼をし、「悪徳商法及び特殊詐欺にだまされないために」という内容で行いました。

2、日帰り研修旅行を企画、運営しました。

富山県の滑川市シルバー人材センターで行われている海洋深層水を使用する製塩事業を見学・研修を中心に、ますのすしミュージアムで昼食、富山の売薬で有名な広貫堂の見学、糸魚川の焼失した酒蔵を見学する盛り沢山で充実した研修旅行となりました。参加者は37名でした。

3、普及啓発月間の活動の一環として、クリーン作戦（清掃活動）を全地区・全会員に呼びかけて実施し、214名の参加がありました。

4、普及啓発月間に柏崎市内で行われる3つのイベント（えんま祭り、シニアじまん展、かしわざき秋の収穫祭）に参加し、リーフレットを配布したり、シルバー人材センターのブースでのアンケート勧誘を行い、PR活動を行いました。

5、会員忘年会を企画、運営しました。

恒例の福引や、新しくじゃんけん大会を企画し、会員に楽しんでもらう工夫をしました。参加者は来賓を含め120名でした。

6、部会内で事業拡大・会員増加のための方策、新規独自事業の内容について検討しました。

女性活躍部会

1、女性会員拡大の一環として、企画推進部会と合同で下記のことを実施しました。

- ・シニア作品・じまん展（老人クラブと共催）でのシルバー人材センター展示コーナーの飾り付け。来場者へ、リーフレットとポケットティッシュを配布。
- ・各イベント会場でリーフレットとポケットティッシュを配布。

2、就業の質の向上・拡大のため、「家にあるもので簡単にできる料理講習会」を開催しました。

3、女性会員同士のつながりを深めるため、講師に市内のダンス教室講師を招き、昨年流行した「USA」、「ダンシングヒーロー」の曲に合わせて体を動かす健康教室と茶話会を実施し、女性会員の声をお聞きしました。

4、シルバーふれあいサロン「やまゆり」に協力するため、月2回手芸教室を開催し、手芸

や季節の飾り物など販売できる商品の作製をしました。

安全衛生部会

平成30年度は「現場事前確認とルールを守って安全就業」をテーマに、意識がマンネリ化しないよう、職群班ごとに班長の他に安全担当会員を選出し、安全意識の再確認と、危険予知活動の周知を中心に取り組んで来ました。

しかし、傷害事故2件、賠償事故8件、労災2件が発生しました。特に機械除草における石の飛散による車輛損傷事故、冬囲い作業時に脚立からの転落による重篤事故、派遣事業における労災事故もあり、昨年度を上回る事故件数、過去にない賠償額になってしまいました。

このことから、安全への意識が軽薄になっていると考え、事故を起こした人に対するペナルティ制度となる事故等取扱基準を制定し、9月より運用を始めました。

また、現場をとりまとめる班長の資質向上は必須と考え、班長と安全担当に対する危険予知トレーニング研修会、職群班全体安全研修会と2回の安全研修会を実施しました。

主な活動内容は次の通りです。

- 1, 安全目標の掲示、周知
- 2, 安全掲示板の設置
- 3, 職群班ごとに安全担当会員を選出
- 4, 作業前朝礼時、声かけシートによる安全唱和の実施
- 5, 安全チェックシートを活用し作業前点検実施
- 6, 安全パトロールの強化（6月から9月まで全12回）
- 7, 無事故100日キャンペーンの実施（6月1日～9月10日）
- 8, 安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 9, 安全就業シール配布
- 10, 救急箱の配布
- 11, 「作業中」と表示した看板を屋外作業班に配布
- 12, ヒヤリハット事案を募集
- 13, 連合会主催の安全講習会へ参加
- 14, 職群班長に対する危険予知トレーニング研修会、職群班全体安全研修会の開催
- 15, 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 16, 運転作業を行う会員に対する運転診断及び交通安全講習会
- 17, 刈払機取扱作業者に関する安全衛生教育の未受講者に取扱安全講習会を実施
- 18, 家族への就業先明確化の徹底
- 19, 事故等取扱基準（ペナルティ制度）の制定 9月より適用

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。